



新春号

第11号 平成20年1月24日発行

新年あけましておめでとうございます。本年もくまもと訪問リハビリテーション研究会をよろしくお祈りします。

さて2008年は診療報酬改定の年です。すでにその全容が明らかになってきました。また来年度の介護報酬の改訂に向けての準備が実施される年でもあります。次の改訂に向けての準備は昨年度より始まっており、訪問リハビリテーションに関わるモデル事業も報告書が完成しています。今年度は次のステップのモデル事業が開始されています。

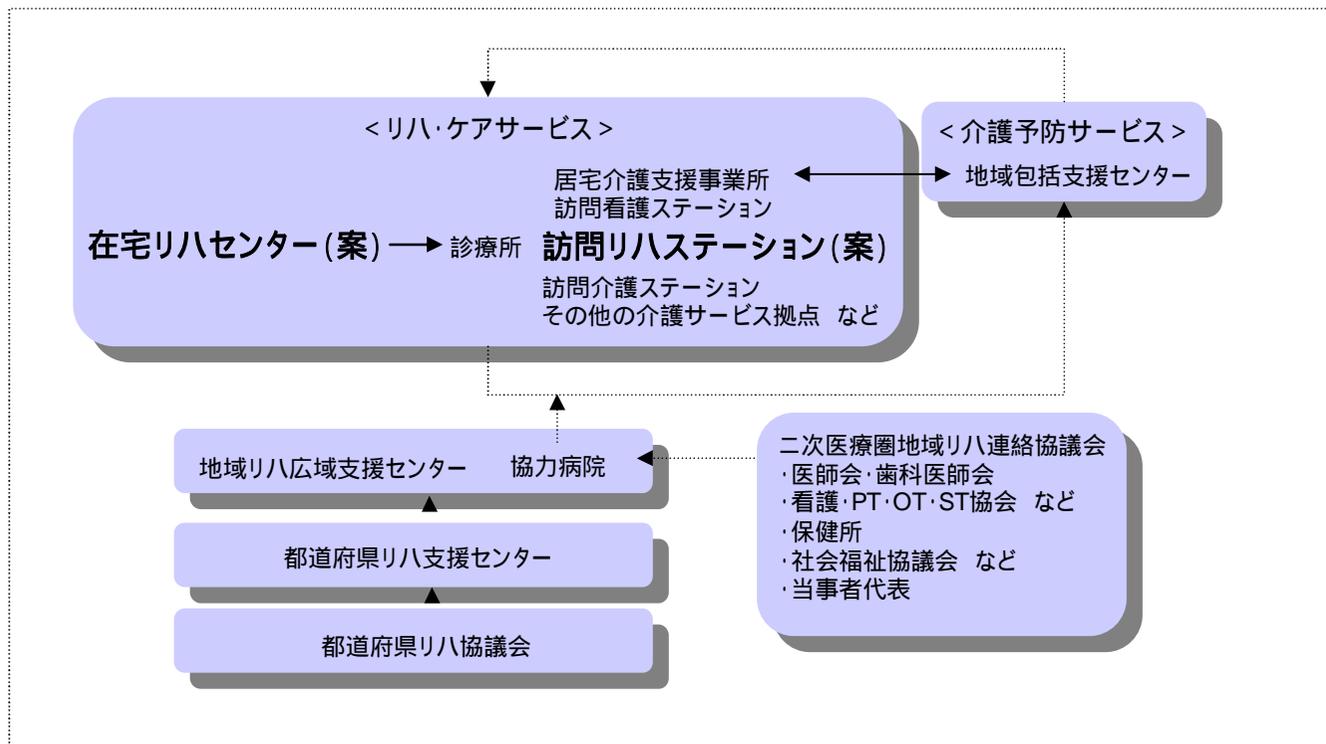
昨今の保健・医療・福祉情勢のめまぐるしい変化はなかなか先が読めない状況です。そんな中、昨年10月に開催されましたリハビリテーション・ケア合同研究大会において、今後の高齢者リハビリテーション医療のあり方に対する指針『高齢者リハビリテーション医療のグランドデザイン(暫定版)』が示されました(日本リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション病院・施設協会、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会合意のもと)。

様々な領域におけるリハビリテーション医療の課題と2015年までを目標とした方向性が示されています。今後のリハビリテーション医療に関わる職種が何をどう取組んでいくべきかの1つの提案がなされています。くまもと訪問リハビリテーション研究会では、これをどう受けて何をすべきかについて、特に訪問リハビリテーションについてのグランドデザインを中心に、現場で実践している皆様とディスカッションしたいと思い、年頭の研究会で緊急シンポジウムを企画しました。今年度は訪問リハビリテーションが新しいステージにステップアップするのかが左右する重要な年です。皆様の参加をお待ちしております。

くまもと訪問リハビリ研究会 会長 野尻晋一

トピックス

日本リハビリテーション病院・施設協会から今後の地域リハビリテーション推進システムについて下記のグランドデザインが示されました。



研修会案内

平成20年総会・第1回くまもと訪問リハ研究会 研修会決定！
平成20年2月6日(水) 国際交流会館くわしくは同封の案内を！

事務局より

緊急シンポジウム！

テーマ： どうなる訪問リハビリテーションの未来
高齢者リハビリテーショングランドデザインを受けて

<座長> くまもと訪問リハビリテーション研究会
会長 野尻晋一(訪問リハセンター清雅苑)

<シンポジスト> くまもと訪問リハビリテーション研究会
理事 木原伸一(山鹿温泉リハビリテーション病院)
理事 小園真知子(熊本機能病院)
理事 有働正二郎(介護老人保健施設 サンライズヒル)
理事 陣内大輔(熊本リハビリテーション学院)

事務局のメールアドレスが変更になりました。
新しいメールアドレスは
khrk@juryo.or.jp

同封の委任状は2月2日までに返信をお願いします

年会費を2年滞納された方は運営規則に従い退会扱いにさせていただきます。



第12号 平成20年4月10日発行

preface

今年も年度末になり、研修会花盛りである。研修会には、情報・知識研修、専門実技研修、連携啓発研修などありますが、皆さんは研修をどのようにその生かされていますか？(行かされていたりして・・・)私は、最近研修で感じるがありました。

経験年数のまだ少ない若いセラピストから質問を受ける機会があった時のことです。「このようなケースを担当していますが、どのようにアプローチすれば良いですか？」また「このような障害の人には、どんな車いすが良いですか？」という質問を受けました。「今まで何の目的で何をどのようにやってきたの？」「どの車いすが良いのか、対象者に合ったこともない私に求めているの？」と聞いてみたくになります。「良い=正解」を手取り早く見つけたい。何度も壁にぶつかって失敗したり、自分で考えるより誰かの解答で「か×か」を早く知りたい。そういう感を受けます。研修会へ参加するのは、自分を一歩進めるため、リスクを恐れず、もう一歩進みたいものですね。

しかし、かくゆう私も日々の臨床の中で情報と経験から「無意識の思い込み」でケースを型にはめた発想をしがちな時もあります。具体的には、余暇活動の乏しい男性の対象者には「外に出かけたくなることはないですか？絵やスケッチをやりましょうか？」とか、要介護者の入浴について浴槽内へ跨いで入ることに危険性を認めるケースへは、「バスボードを用いて一旦腰掛けて足を回して入るようにしましょう。」など安易に提案してしまう。対象者の生活歴や家族背景から価値観による意向や習慣を考慮した提案でなければ受け入れられることは少なくなります。客観的な評価に基づき効率的にアプローチを進めていくことは当然のことですが、ケースの環境因子や個人因子等によるアプローチの幅、ズレをいつも忘れずにいたいと思っています。これは、訪問リハビリプログラムや環境調整のプランニングに限らず、病院・施設内のリハビリテーションにも通ずることと思います。

2月に中医協より、診療報酬改訂が出され各施設にてシミュレーションや体制整備に多忙な時期と思います。制度、システム採算性、効率化を考えあてはめることも大切ですが、基本的な考えとして「一人の利用者を支える」ことを頭に起き、いつもチャレンジャーでいたいものですね。イレギュラーを大切に！

(理事 内田正剛)

平成20年 第1回研修会開催

平成20年 第1回くまもと訪問リハビリテーション研究会に参加して

今年の2月6日に国際交流会館で、高齢者リハビリテーショングランドデザインを受けて、「どうなる訪問リハビリテーションの未来」というテーマで緊急シンポジウムが開催されました。はじめに会長である野尻晋一先生(訪問リハセンター 清雅苑)から高齢者リハビリテーション医療のグランドデザイン概略について、その後、理事をされている理学療法士の木原伸一先生(山鹿温泉リハビリテーション病院)より訪問理学療法研修会の取り組み及びグランドデザインの課題について、言語聴覚士の小園真知子先生(熊本機能病院)より言語聴覚療法の訪問リハビリテーションについて、作業療法士の有働正二郎先生(介護老人保健施設 サンライズヒル)よりグランドデザインを受けての課題及び率直な考え、陣内大輔先生(熊本リハビリテーション学院)より教育の立場からの問題・課題についてと各分野からの意見をお話ししました。



今後、在宅リハセンターや訪問リハステーションにおいては、管理者育成、在宅リハセンターの要件の常勤医師1名以上、教育問題、採算等の問題が挙げられているとの事です。私自身、このグランドデザインにおいて無知のままのシンポジウム参加となり、率直な感想は今後の在宅サービスにおいては期待と不安が入り混じった形ですが、一セラピストとして、対人援助やビジネススキルの質の向上に取り組んでいきたいと考えました。現在、私たちはPT3名、OT1名、ST1名で訪問看護ステーションと病院事業所からの訪問リハビリを施行しており、様々な問題を抱えつつ取り組んでおりますが、今後の展開に乗り遅れないように、アンテナを張り巡らせながら、

また利用者様がその人らしい生活を送れるように、各専門性を活かせるように、今自分たちが出来ることを精一杯行っていきたいと思います。

熊本ではこの訪問リハ研究会が発足され、タイムリーな課題を提供して頂けるので、熊本全体を私たちも一緒に盛り上げていきたいと感じました。

聖ヶ塔病院 作業療法士 江崎あすか

研修会案内

平成20年全国訪問リハビリテーション研究会 in 沖縄

【日時】平成20年5月24日25日(土、日)

【場所】カルチャーリゾート「フェストーン」 <http://festone.jp>

【参加費】全国訪問リハビリテーション研究会会員 4000円

非会員 5000円

【研修会内容】

5月24日 13:00受付 13:30開始 16:45終了 18:00懇親会

沖縄からの報告「BIやFIMで表せない訪問版ADL作成への挑戦」

沖縄訪問リハビリテーション研究会 ふかあっちゃ〜(外歩人)

特別講演「この一年間で訪問リハが行うべきこと」

講師 石川 誠氏(研究会顧問)

ステップアップ1「家族支援」

5月25日 9:30開始 15:00終了

ステップアップ2「自主訓練のすすめ方」

ステップアップ3「生活の展開の仕方」

明日からすぐ使える講座

「ありひゃ〜でえ〜じなと〜ん(訳:きゃ〜大変だ!)

〜緊急時の対応について学ぼう〜

講師 訪問看護ステーション若松 所長 安次富 睦子氏

【申し込み方法】

E-mailにて必要事項を記入の上、下記アドレスまでお申し込み下さい。氏名(ふりがな) 職種 施設名 所在地・電話番号FAX

職種経験年数 訪問リハの経験の有無とその経験年数 現在の領域(訪問・入院・老健・通所・外来・その他) 連絡メールアドレス(携帯アドレスの方は事務局からの連絡はFAXとさせていただきます) 懇親会参加・不参加 全国訪問リハビリテーション研究会会員・非会員

大浜第二病院 理学療法士 糸山 太一郎 宛

E-mail:okinawahoumon@gmail.com

【懇親会会場】

会場近くにて 18時~20時 会費 3500円程度

沖縄の冷房はかなりきついので、冷え性の方は上着を1枚準備してください。



preface 第13号 平成20年6月17日発行

新年度もはや数ヶ月が経ち、皆さんいづらか落ち着かれた頃でしょうか？今回の巻頭言を担当致します熊本機能病院の井上理恵子です。本年度は例年にも増して、医療・介護に関する話題が多いようです。今回はそのような具体的雑事から一旦離れて、訪問リハの存在意義とも言える「家・在宅」について思うところを書かせていただくと思います。

私事で申し訳ありませんが、私の夫は数年前に他界いたしました。夫は入院中の苦しい中でも何一つ不満を言いませんでしたが、ただ一言「家に帰りたい」と申しました。入院する前は「元気になって仕事したい」と申し立ておりましたが、最後に望んだのは「在宅」のみでした。「ただ家にあって夜眠ったら朝が来る、それだけでよい」と話しておりました。私も必ず夫を家に連れて帰るといふ想いで、退院できたら訪問リハも利用しようといひ合わせしておりましたが、叶いませんでした。

人はいろんな望みを持っていますが、老化や病による心身の変化を得た時、何事もなかった時には当たり前であった「自分の家で過ごす」と言う事が大きな望みになるのではないのでしょうか。心身の変化を穏やかに受け入れ、自分らしく過ごしていく事ができる場所、それが我が家なのだと思います。

私達が訪問リハをすすめるにあたっては、まずご本人様にとって「在宅」がどれほど大切なものを心から共感する事が肝要だと考えます。

共感する事で、私達の中にも、ご本人様の望まれる在宅生活が描かれるようになり、やるべきリハ内容や環境調整が見えてくるのだと思います。

ご本人様は、自分で望んだ事とはいえ本当に自宅でやっていけるだろうかと不安を感じ、また、ご家族は病院や施設の方が安全ではないかと心配をされているのではないのでしょうか。その不安や心配が軽減するように私達は専門知識を提供し、ご本人様の在宅への気持ちに寄り添ってすすめていくのが訪問リハなのだと思います。

熊本機能病院 言語聴覚士 井上理恵子

平成20年 診療報酬改定の影響は

平成20年度診療報酬改定 一報酬UPと活動範囲拡大

平成20年2月13日(水)に平成20年度診療報酬改定案が答申されました。

訪問看護関連は以下の6項目でした。

- 1)退院時における円滑な情報共有や支援の評価
- 2)在宅医療におけるカンファレンス等の情報共有に関する評価
- 3)24時間体制の訪問看護の推進
- 4)患者の状態に応じた訪問看護の充実
- 5)居住系施設入居者等に対する医療サービスの評価体系の新設
- 6)訪問看護におけるターミナルケアに係る評価の見直し

訪問看護基本療養費、在宅患者訪問看護・指導料の改正

現行	改正案
〔訪問看護療養費〕(1日につき)	〔訪問看護療養費〕(1日につき)
・訪問看護基本療養費()	・訪問看護基本療養費()
(1)保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士の場合	(1)保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士の場合
(一)週3日目まで5,300円	(一)週3日目まで5,550円
(二)週4日目以降6,300円	(二)週4日目以降6,550円

訪問看護基本療養費()の新設
保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士の場合
週3日目まで4,300円、週4日目以降5,300円

補足ですが...
訪問看護基本療養費()とは、従来の訪問看護基本療養費
訪問看護基本療養費()とは、福祉施設・社会復帰施設にいる
複数の精神障害者への訪問看護
訪問看護基本療養費()とは、居住系施設入所者への訪問看護 のことす

全国訪問看護事業協会ホームページにて資料が見れます。
<http://www.zenhokan.or.jp/>

病院からの訪問リハに関しては以下のような通知がありました。

在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料(1単位)
在宅での療養を行っている患者(居住系施設入居者等を除く。)の場合:300点
居住系施設入居者等である患者の場合:255点

詳細は厚生労働省ホームページをご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2008/03/tp0305-1.html>

介護保険優先の原則があるので稀なケースだと思われます...(担当 濱崎)

研修会案内1

全国訪問リハビリテーション研究会 地域研修会in鹿児島

平成20年8月30日(土)13:00~17:30

講演1 「訪問リハビリテーションの現状と課題」
講師 全国訪問リハビリテーション研究会 会長
初台リハビリテーション病院 伊藤 隆夫氏
講演2 「訪問リハビリテーションの実際 -訪問リハのノウハウ-」
講師 全国訪問リハビリテーション研究会 理事
熊本機能病院・介護老人保健施設清雅苑 野尻 晋一氏
グループワーク1

平成20年8月31日(日)9:30~13:00

特別講演 「訪問リハビリテーションのビジョンと戦略」
-これからの訪問リハが行うべきことは何か?-
講師 全国訪問リハビリテーション研究会 顧問
初台リハビリテーション病院 石川 誠氏
グループワーク2

問い合わせ先 全国訪問リハ研究会 地域研修会in鹿児島 事務局
〒899-8102 鹿児島県曾於市大隈町岩川5515番地 ケアセンターやごろう苑
TEL 099-482-5963 FAX 099-482-5964
メールアドレス sh-nakama@po.minc.ne.jp 担当 中間信一・有木隆太郎

研修会案内2

平成20年度 第2回くまもと訪問リハビリテーション研究会 講演会 開催

日時 平成20年7月18日(金) 18:30~20:30
場所 国際交流会館7Fホール

緊急座談★

プロフェッショナル
訪問リハの流儀

~できるか?!訪問リハリステーション~

ゲスト 全国訪問リハビリテーション研究会 会長
初台リハビリテーション病院 伊藤 隆夫氏

ナビゲーター くまもと訪問リハビリテーション研究会 会長
訪問リハビリテーションセンター清雅苑 野尻 晋一氏

申し込みは同封の講演会案内を参照してください。

問い合わせ先 介護老人保健施設清雅苑内くまもと訪問リハ研究会事務局
TEL 096-345-8112(内線7308) E-mail khk@juryo.or.jp 担当 大久保



preface

第13号 平成20年9月20日発行

残暑の厳しい中、皆様に置かれましては、いかがお過ごしでしょうか？暑い中訪問リハへ出かけている先生方も多いと思います。

私は現在、小児の施設に勤務しており、障害を持つ子どもたちの支援をしています。その中で、必要に応じて(緊急的なケースなど)子どもたちの自宅に訪問し、生活をのぞかせてもらうことがあります。介護保険とは異なった形での訪問ですが、今回は、その経験の中から書き綴らせていただきたいと思ひます。

私が対象としている子どもは、発達障害、知的障害、身体障害などの子どもたちの言語コミュニケーションと摂食嚥下について、評価し保護者へ助言することを主な目的として関わっています。子どもたちは、訪問すると笑顔で迎えてくれ、時に子どもたちの能力や意外な一面に驚かされることもあります。私が思っていた以上のことをやってのけてくれるのです。子どもたちが、生活の中で見せてくれる能力は、安心感を持って自信に満ち溢れているようにも見えます。また、お母さんたちの喜ぶ様子や、褒められて喜ぶ子どもたちの顔を見ると、とっっても嬉しくなります。そんな子どもたちの持つ潜在性を見出すことができるよう、出来るだけ引き出して伸ばしてあげることができるよう、そして、日常生活や将来に繋げることができるよう試行錯誤しながら、お手伝いできたらと思っています。子どもたちが自分の気持ちを様々な形で表現して他者に伝え、元気に過ごせるように、私も日々精進していこうと思ひます。

成人の方でも、訓練室でのリハビリと自分が住み慣れた自宅でのリハビリとは、リハビリに取り組む際の安心感が大きく異なるのではないかと思います。訪問リハビリにおいて、対象となる方の生活に寄り添いながら専門的な知識や技能を提供し支援していくことで、生活の中でのより深い安心感へつながるのだらうと思ひます。

くまもと訪問リハビリ研究会 理事

熊本市子ども発達支援センター 言語聴覚士 下田祐輝

平成20年 第2回講演会印象記

プロフェッショナル 訪問リハの流儀



全国訪問リハビリ研究会会長
伊藤 隆夫氏

～できるか?!訪問リハビリステーション～

平成20年7月18日国際交流会館にて開催された、第2回くまもと訪問リハビリ研究会 研修会「できるか?!訪問リハステーション」に参加させていただきました。

今回の講師は、全国訪問リハビリ研究会会長で理学療法士の伊藤隆夫先生をお招きし、とても貴重なご講演をしていただきました。

講演では、今後訪問リハステーションを創設するにあたり、まずは訪問リハビリテーション(以下、訪問リハ)の現状と今後の課題を整理しようということで、訪問リハの実態調査の結果と来年度の介護報酬改定予測を踏まえた今後の方向性について、伊藤先生の貴重なご意見を拝聴することができました。実態調査では、マンパワー不足や他サービスとの連携の問題、セラピスト個人の知識・技術不足の問題等が浮き彫りにされ、まだまだ課題が残る結果となりました。しかし、訪問リハの介入によりADL・IADLの改善や、生活の活性化と社会性の獲得、すなわち活動と社会参加の面で訪問リハの有効性が証明されてきており、これからは訪問リハに対する研究を増やし、社会に訪問リハの有効性をアピールしていく必要があるということを言われました。また、今後の方向性では、早期退院が求められる今、身体機能の回復段階の途中で在宅復帰するケースが当然増えてきます。これに伴い、退院後も回復技術が不可欠となり、セラピストとしての治療・回復技術を日々磨いておく必要があると言われていました。

今回は「できるか?!訪問リハステーション」というテーマでのご講演でしたが、伊藤先生は「つくるぞ!!訪問リハステーション!」という気構えで取り組んでほしいということをしきりに言われておりました。訪問リハステーションの制度化を目指して、我々訪問リハ従事者が伊藤先生と同じ熱い想いをもち、各々の課題を克服して、積極的に地域の活動に参画していく必要があると感じました。私も、訪問リハ専従となりまして、もうすぐ4年が経とうとしております。今回の研修に参加させていただき、伊藤先生の訪問リハに対する熱い想いを受けて、自分の未熟さや知識・技術不足など、自分の課題というものにも改めて気づかされた部分も多く感じました。これからも日々自己研鑽し、地域社会に貢献していきたいと思ひます。

みなさんと一緒に「つくるぞ!!訪問リハステーション!」

山鹿温泉リハビリテーション病院 理学療法士
一安 宏紀

研究会案内1

全国訪問リハビリテーション研究会 全国大会 IN 神戸

テーマ:「訪問リハビリテーション・ステーションの創設を願う」
～どうしたら社会のニーズに答えられるか～

開催日:平成21年1月24日(土)～25日(日)

会場:ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター

〒650-0047

神戸市中央区港島南町7丁目1番地5号

TEL 078-304-5991

予定人数:300名

会費:4000円(会員) 非会員(5000円)

特別講演 「診療報酬・介護報酬改訂の動向」
-訪問リハビリテーション・ステーションの可能性-
講師 初台リハビリテーション病院院長 石川 誠氏
シンポジウム 「訪問リハビリテーション・ステーションの役割」
講師 全国訪問リハビリテーション研究会 理事

演題募集要項

発表形式:口述発表のみ

発表時間:10分程度

演題申し込み期限:平成20年11月1日

抄録原稿締め切り:平成20年12月5日

応募資格:全国訪問リハビリテーション研究会会員

問い合わせ先

〒679-5165 兵庫県たつの市新宮町光都1-7-1

兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター

リハビリテーション西播磨病院 リハビリ療法部 中村 春基

FAX 0791-58-1071 E-Mail nharuki@aol.com

研修会案内2

平成20年度 全国訪問リハビリテーション研究会 地域研修会(基礎コース)in岡山

開催日:平成20年10月18日(土) 13:30～17:00、19日(日) 9:00～15:00

会場:岡山医療技術専門学校(岡山県岡山市大供3-2-18)

TEL 086-233-8020

内容:1)講演1・2 特別企画セミナー1・2 ワークショップ

2)懇親会 5,000円程度(参加費と別途)

申し込み先:E-mail: houmonrcha@soushinkai.com

メール、FAXの件名は、必ず「全国訪問リハ研究会研修・岡山申込み」として下さい

詳しくは全国訪問リハビリテーション研究会のホームページをご参照ください



第15号 平成21年1月19日発行

preface

平成21年が始まりました。皆様におかれましては新年度に向け、新たな事業計画開始の最終段階に入っていることと思います。

さて、平成19年10月の介護事業経営概況調査から始まった平成21年度介護報酬改定は、昨年12月26日、第63回社会保障審議会介護給付費分科会で最終の承認が行われました。この中で、医療保険等との整合性を図る観点から、訪問リハ費はこれまでの500単位/日から305単位/回となり、20分間のリハを行った場合に1回の算定へと変化しました。従って単位ではなく、利用者の状況に即しサービス提供時間に応じた評価への見直しがなされたこととなります。更に、介護老人保健施設からの訪問リハと、短期集中リハ実施加算についても見直しが行われています。今回の改定は訪問リハにとって上向きの方角？、同時にリハスタッフの量の確保と、リハサービスの質の確保が急務であることも間違いありません。

話は変わりますが...近年、介護保険系のリハ事業が急激に拡大しています。同時に、介護老人保健施設などへ就職する新人療法士も増加傾向にあります。医療保険施設から介護保険施設への就職先の変化は養成校の在り方にも変化を及ぼします。養成校では、老年医学や介護保険制度を利用したリハサービスのカリキュラムを構成し、社会ニーズに合わせた内容に近づけるよう取り組んでおります。

社会情勢と同じように、教育も臨床の現場も日々変化しており、今年も何かと変化が訪れる年のようです。サービスの量も質もこの数年で大きく変化していきますが、目先の変化にとらわれず10年先30年先を見据えた変化を予測し、それを楽しむ余裕がほしいと感じています。

くまもと訪問リハ研究會 理事
メディカル・カレッジ青照館 理学療法士 平尾浩志

平成21年度介護報酬の算定構造(案)

訪問リハビリテーションに吹く追い風

：平成21年度見直し案箇所

訪問リハビリテーション費

基本部分		注	注
		中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算	短期集中リハビリテーション実施加算
訪問リハビリテーション費	病院または診療所の場合	1回につき 305単位	+ 5 / 100
	介護老人保健施設の場合		
サービス提供体制強化加算 (1回につき + 6単位)			

介護予防訪問リハビリテーション費

基本部分		注	注
		中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算	短期集中リハビリテーション実施加算
訪問リハビリテーション費	病院または診療所の場合	1回につき 305単位	+ 5 / 100
	介護老人保健施設の場合		
サービス提供体制強化加算 (1回につき + 6単位)			

訪問看護費・介護予防訪問看護費

基本部分		注
		指定訪問看護ステーションのPT、OT、STの場合
指定訪問看護ステーションの場合	(1) 20分未満(夜間、深夜、早朝のみ加算) : 285単位	
	(2) 30分未満 : 425単位	425単位を算定
	(3) 30分以上1時間未満 : 830単位	830単位を算定
	(4) 1時間以上1時間30分未満 : 1198単位	
サービス提供体制強化加算 (1回につき + 6単位)		

[引用] WAM NETより

介護保険 > システム関連 > 国保連インターフェース > 介護保険事務処理システム変更に係る参考資料 > 資料1: 介護報酬の算定構造(案)

研究会案内

平成21年 第1回くまもと訪問リハビリテーション研究会講演会

「介護保険の行方と訪問リハビリテーションの未来」
- 今我々がしておくべきことは何か! -

ゲスト: 株式会社シダー 専務取締役

座小田 孝安 先生

ナビゲーター: くまもと訪問リハビリテーション研究会会長

野尻 晋一

開催日: 平成21年2月20日(金)

会場: 国際交流会館

参加費: (会員) 1000円 (非会員) 2000円

会員の方は、年会費1000円を別徴収します
会費を2年間滞納された方は自動的に退会となりますのでご了承ください。

時間: 19時 ~ 20時30分

申し込みは同封の講演会案内を参照してください。

問い合わせ先

介護老人保健施設清雅苑内くまもと訪問リハビリ研究会事務局

TEL 096-345-8112(内線7308) E-mail khrk@juryo.or.jp 担当 大久保



第16号 平成21年3月31日発刊

preface

この原稿を書いている頃は自宅の梅も散り始め、少しずつ春の足音を感じる今日この頃皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？当院では新入職員の教育体制の見直しや配置転換に伴う新体制下での業務移行など忙しい毎日です。訪問リハ部門では、次年度からの介護報酬改訂に伴う書類の変更や業務の見直し、新人教育など例年にも増して忙しい年度末になりそうです。春は出会いと別れの季節です。今年度ももうすぐ終わろうとする中、訪問リハという仕事を通じて今年も素敵な出会いと悲しい別れをいくつも体験しました。昨年亡くなったMさんは約5年間の関わりでした。少しずつ入退院の頻度が多くなり、全身状態も悪化していく中さすがに今回は訪問リハの依頼は来ないだろうと予想していたところ、本人、家族たつての希望によりまさかの訪問リハ再開となりました。最後の入院の直前まで関わらせていただき、改めて命の尊さや終末期在宅医療の重要性について学ばせていただきました。1月から担当しているHさんはまだ2ヶ月足らずの関わりの中、趣味のパソコンについて2人で毎回試行錯誤しています。上肢、手指共に不自由で、キーボードでの入力が困難になってきた為、スクリーンキーボードを提案・導入し、マウススピードを微調整しました。その後わずか1ヶ月でグーグル検索が可能になり、最近では知人のブログへの返信やメールのやり取りが出来る様になったと大変喜ばれています。返信されたコメントを読ませていただく、「訪問リハのアドバイスでショートなら入力出来る様になり嬉しいよ。」との内容に2人して喜びを共有し、この仕事について本当に良かったと思えました。

訪問リハを通じての貴重な出会いに心から感謝し、少しでも多くのご利用者に恩返しの意味も含めて最良のサービスを提供できるよう、これからも心と技を磨いていく所存です。平成21年度はどのような出会いや別れが待っているのかは分かりませんが、希望を持ってこの1年乗り切りたいと思います。最後に「ピンチはチャンス！トラブルを楽しみ、この未曾有の大不況を皆で乗り切りましょう！！」

くまもと訪問リハビリテーション研究会 理事
朝日野総合病院 理学療法士 京極大樹

平成21年度第1回総会および研修会

平成21年度 第1回くまもと訪問リハビリテーション
研究会・研修会に参加して

平成21年度の介護報酬改定まで約1ヵ月余りとなった2月20日に平成21年度 第1回くまもと訪問リハビリテーション研究会・研修会が国際交流会館にて開催された。講師に株式会社 シダの専務取締役であられる作業療法士の座小田孝安先生をお招きして「介護保険の行方と訪問リハビリテーションの未来」というテーマで行われた。



冒頭、野尻会長より、先生が1400名の従業員を雇用されているとのご紹介があり、私はただ驚くばかりであった。いざ講演が始まるまでユーモアを交えたお話の中にも、先生の事業に対する熱い思いとこれからの訪問リハビリへの期待がひしひしと感じられ引き込まれていった。講演では、これまでの介護保険の動向について様々な資料からの分析があり、改めて今後の介護保険を取り巻く現状と課題を認識することができ、今回の改定内容についても詳細にご説明していただいた。講演の中でも特に、これからのリハスタッフに求められるもの(特に中堅の方に)ということでは、身の引きしめる思いであった。私自身PTとしてようやく10年を超えたところであり、PTとしての専門性を高めつつもいかにリハの枠組みから外に出ることが出来るか、という事をしっかりと考えていきたいと思った。

私達を取り巻く環境は日々変化してきており、平成24年度の医療・介護の同時改定までは駆け足で進んでいくと予測される。近い将来における訪問リハステーション構想もその1つであり、その実現のために、私達セラピストは今から何をすべきかを明確に提示していただいた気がした。リスクマネジメント、法令順守、そして「やる気」という当り前の事を当り前に行っていく日々の積み重ねが大事であり、志・誠・学・商のバランスを保ちながら、明日からも訪問リハビリテーションに携わっていきたくと思う。

医療法人 博光会 御幸病院 理学療法士 中園健太郎

事務局より 新しい理事が加わりました！

これまで当会の理事を務めていただいた、STの井上理事(熊本機能病院)、下田理事(こども発達支援センター)が都合により平成20年までとなりました。様々な面で当会にご尽力いただき誠にありがとうございました。心から感謝いたします。

平成21年からは、新しい理事としてPTの中園理事、STの林理事(御幸病院) STの森崎理事(聖ヶ塔病院) が総会で承認されました。よろしくお願ひ致します。

研究会案内

平成21年度 第13回 全国訪問リハビリテーション
研究大会・総会 in 東京

テーマ「訪問リハビリステーションの発展と社会的認知を目指して!!」
大会長 伊藤 隆夫(船橋市立リハビリテーション病院)
実行委員長 宮田 昌司(在宅リハビリテーションセンター成城)

【日時】平成21年5月16日(土) 9:00~16:00

- 9:30 開会
- 9:40 【特別講演】
訪問リハ・セラピストが今なすべきこと ~介護保険改定をうけて~
研究会顧問 石川 誠(医療法人社団輝生会・医療法人財団新誠会理事長)
- 11:00 【訪問リハビリ・実態調査報告】
調査担当理事 小笠原 正(近森リハビリテーション病院)
- 11:30 【基調講演】
訪問リハビリテーションの普及と教育・研修の今後
研究会会長 伊藤 隆夫(船橋市立リハビリテーション病院)
- 12:10 昼食休憩(13時30分まで)
- 13:05 訪問リハ研究会 会員総会(13時25分まで)
- 13:30 【シンポジウム】
テーマ:様々な訪問リハの形からその将来を展望する
呼吸器疾患 ターミナル 言語発達領域
神経難病 発達障害
以上の各部門の訪問リハを実践しているセラピストによりシンポジウムを行います。

介護保険改定情報

訪問リハビリ関連 改定のポイント

- 1日500単位から1回305単位(1単位20分)へ変更(週6単位が限度)
- リハビリマネージメント加算は包括
- 短期集中加算(1) 330単位 340単位(+10)
- 短期集中加算(2) 200単位 200単位(±0)
- 事業所体制加算 6単位/回
(要件:3年以上の勤務者(同一法人内なら異動可)が1人以上)

訪問看護7

50%規制の撤廃(訪問リハビリの利用が困難な場合)
訪問看護の管理者要件の変更(訪問看護7が中心のステーションでかつ適切な保健師、看護師の管理者がいない場合)



第17号 平成21年10月25日発行

preface

吹く風が少し涼しく感じられるようになったこの頃、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？介護保険制度が改定されてから半年、皆様の事業所も、お忙しい日々を過ごされたことと思います。私が所属している聖ヶ塔病院は、熊本市の西の外れ、玉名市とのちょうど境に位置し、みかんと海苔業が有名な地域です。訪問リハにおいては、日々金峰山周辺を駆け回っています。

言語聴覚士(ST)の訪問が介護保険で認められるようになってから、ようやく3年半が過ぎました。少しずつ訪問に出るSTも増えつつありますが、平成21年3月の熊本県言語聴覚士会の実態調査においては、訪問STを行っている施設は22施設という結果で、まだまだごく少数であることがわかりました。また、そのほとんどが院内業務との兼任であり、一人ひとりにかかる仕事量が多い現状があります。さらに、STの認知度が低く、そのサービスがケアプランに反映されにくい、という問題も同調査で浮き彫りになりました。「STの存在や業務内容そのものを知らない」という声や、「どの施設が訪問STを行っているのかわからない」「どこに相談すれば良いかわからない」という声もありました。

これらをふまえて、熊本県言語聴覚士会では、同会ホームページに訪問ST実施施設を掲載したり、健康フェスティバル等でもポスターを作成し掲示する等の活動に取り組んでいます。また、『シルバーサポートネット』という在宅部門で働くSTの勉強会を立ち上げ、新規開拓するSTのサポートを行ったり、技術・知識の向上を図る活動を行っています。運営はまだまだこれから...といった状態ですが、一人でも多くのSTが、地域で暮らすご利用者により良いサービスが提供できるよう、今後も活動を盛んに行っていきたいと考えています。

くまもと訪問リハビリテーション研究会 理事
聖ヶ塔病院 言語聴覚士 森崎絹恵

平成21年度第2回研修会

平成21年度 第2回くまもと訪問リハビリテーション研究会に参加して

平成21年9月5日パレアホールにて中間信一先生による講演会「開業の心と技～独立に求められるパッションとプラン～」が開催された。長年、理学療法士・施設管理職を経験された先生がこれまでの仕事を退職、株式会社リハ研究所ウィルを立ち上げるまでの1年間で「開業における工程」として段階を追って話されたものである。

ポイントとして挙げさせてもらおうと

まずは意思決定する事から始まる 市場調査(マーケティング)を充分に行う 事業計画・資金融資・保険収入・助成金申請など細部に至るまでしっかりとシュミレーションする 事業展開の中で助成金制度の利用方法、社員募集から採用まで、またその中で新しい人との出会いがあったこと 営業として居宅訪問、医療機関訪問、担当者会議等への参加を積極的に行う 組織化していく上で就業規則は重要である 施設整備・車両関係・請求ソフト等の準備は大変だったけれども一番楽しかった 生活保護の申請等その他である。また最後に、事業計画には「企業理念」を確立させておくことが最も重要と話されている。この理念がしっかりしていれば何かに躓いた時、原点に立ち返り考え直す事が出来ると。

1時間半の講演でしたが内容は盛り沢山で大変興味深いものでした。起業する事の大変さは想像出来ませんがその中には人との出会い・準備することの楽しさもあると聞き、それを原動力としてやっておられるのだと、一見穏やかそうに見える先生の中に熱いものを感じました。「あきらめないこと」を信条とされておられる中間先生。これからのご活躍を期待致します。

訪問看護ステーションきんもくせい 池崎理恵



Information

来年度から熊本の4団体合同による
訪問リハ研修開始！？

平成22年度から、くまもと訪問リハ研究会、熊本県言語聴覚士会、熊本県作業療法士協会、熊本県理学療法士協会の4団体合同で訪問リハビリテーションに関するスタッフの研修会を開催する計画が進んでいます。4団体が協力して研修プログラムを組みます。訪問リハに関する専門職の基本ベクトルを同じにしようというのが最大の目的です。

全国でも訪問リハ振興会が設立し、現在管理者研修会や今後の活動の会議が開かれています。

具体的に決まりましたらまたご連絡します。(野尻)

研究会案内

平成22年度 第14回 全国訪問リハビリテーション研究会 研究大会

平成22年度の研究大会の開催地が沖縄に決定しました。

沖縄訪問リハビリテーション研究会 外歩人(ふかあっちゃ～)メンバーが、いつもと少し違った研究大会を企画中です。ご期待ください！

日時:平成22年5月15日(土)13時～16日(日)16時ごろ

場所:おもと天久の杜 大浜第一病院 那覇市天久

<http://www.omotokai.or.jp/ohama1/ameku/index.html>

参加費:事前4000円 当日5000円 (これより安くなる予定)
懇親会費:立食パーティー 3500円 (沖縄料理あり)

新刊案内

「訪問リハビリテーション実践テキスト」

全国訪問リハビリテーション研究会から訪問リハの基本となる部分の標準化を図るテキストが出版されました。訪問リハの評価のあり方や実践的アプローチを事例を交えて紹介するほか、コスト管理や利用者の確保など経営的な視点についても触れており、質の高い訪問リハ実践のための指標となる本です。

出版社:青海社

発行日:2009-08-04

著者:全国訪問リハビリテーション研究会 編
価格:2,940円(税込)





第18号 平成22年2月15日発刊

preface

2010年！訪問リハの行方は？

2010年がスタートして早くも1ヵ月過ぎました。今年は診療報酬改定の年です。すでに様々な情報が飛び交っていますが、リハビリテーション関連の報酬はやや追い風となりそうです。医療保険の訪問リハビリテーション及び訪問看護の改定に関わる情報は今のところあまりありません。診療情報提供書の簡素化についても議論はあがっていましたが具体的には何も示されていません。政権交代でそんなところまで手がまわらないといったところでしょうか。

現在高齢者に関わる国の大きな課題は、高齢者独居世帯の住居対策と認知症高齢者対策そして看取りです。昨年の介護報酬改定では認知症短期集中リハビリテーション加算が老健入所者のみであったものが通所リハにも拡大され、対象者の範囲も広がりました。加算の単位数も一気に4倍に増額されました。今回の診療報酬改定ではガン患者へのリハビリテーションが新設されるようです。訪問リハもこれから終末期(高齢者に関わっているだけで終末期といえますが)に対する制度的な後押しが増える可能性があります。

リハビリテーション専門職は常に機能の改善、回復といった命題を背負った感があります。しかしそれだけではなく、終末期に、人としての尊厳や名誉の回復という本来のリハビリテーション理念にたった支援をどのように展開していくのか今後の大きな課題になってくると思います。

今年は早くも当研究会が発足して5年となります。節目の年ですので、新しい企画も試みたいと思います。本年もよろしく願います。

会長 野尻晋一

平成22年度 訪問リハを取り巻く環境

熊本の4団体合同による訪問リハ研修準備始動

平成21年6月に熊本のリハビリテーション関連4団体(くまもと訪問リハビリテーション研究会、熊本言語聴覚士会、熊本作業療法士会、熊本理学療法士協会)で訪問リハビリの普及と質の担保を目的とし、研修に特化した『熊本訪問リハビリ研修協議会(代表世話人 野尻晋一氏)』を設立いたしました。

平成22年度より、同会で検討したカリキュラムに沿って研究会が開催される予定です。単発の研修会ではなく、訪問リハビリに関わる基本的な事項を30時間かけて実施することになっております。

在宅医療、在宅介護の推進が加速するなか、訪問リハビリの重要性はますます高まっており、次の介護保険改正では訪問リハビリステーションの創設が期待されています。その一方で教育、研修制度が不十分なため標準化がなされていないことが大きな課題の一つです。研修会では、在宅介護・在宅医療の拡大に伴い、重要性が増している訪問リハビリを広く普及するとともに、課題といわれている訪問リハビリの標準化や質の担保を図ることが目的となっております。

Information

くまもと訪問リハビリテーション研究会のホームページ開設します

くまもと訪問リハビリテーション研究会のホームページがもうすぐ開設します。下記のアドレスよりご覧いただけるようになります。

<http://www.geocities.jp/khork2009/>

くまもと訪問リハビリテーション研究会の理事紹介や運営規程を載せております。また、これまで発行してきた広報紙KHORKもPDFファイルにてご覧いただけるようにしております。

今後はKHORKの発行や研究会の参加申し込みなども行えるようにバージョンアップを図っていききたいと思います。



3月上旬にはアップできる予定です！

研究会案内

平成22年 くまもと訪問リハ研究会2月27日(土)！

札幌のNPO法人で、さまざまな地域リハ活動を展開されているSTの高橋育子先生と、MSWからPTになられて、山口県で地域リハ活動の中心的な活動をされている松永俊夫先生にお願いして、何とか日程の調整をしていただきました。なかなか聞けない話が盛りだくさんだと思います。まだ間に合いますので是非参加を！！

平成22年度 第15回 全国訪問リハビリテーション研究会 研究大会 演題募集のお知らせ

日時:平成22年5月15日(土)13時～16日(日)16時10分

場所:おもと天久の杜 大浜第一病院 那覇市天久1000番地

<http://www.omotokai.or.jp/ohama1/ameku/index.html>

参加費:会員4000円 非会員5000円

懇親会費:立食パーティー 3500円(沖縄料理あり)

【演題応募】締め切り:平成22年2月15日(月)12:00まで

【演題応募方法】下記事務局宛にE-mailにてご応募下さい。

件名:「演題応募 訪問リハ研究大会」として下さい。

発表者氏名(ふりがな)

所属先名称 および 所属先住所

所属先電話番号

連絡メールアドレス

職種

演題名

キーワード(3つまで)

応募された方に対し、抄録原稿作成に関しての注意等をご連絡いたします。

抄録原稿締め切り:平成22年4月15日(木)12:00まで

【事務局】大浜第一病院 訪問リハビリセンター あめくの杜

(担当:宇田・末吉)

FAX 098-866-3358

e-mail:houmon_riha@ns.omotokai.jp

「houmon」と「riha」の間にアンダーバーが入ります。

事務局より

2月27日(土)に熊本駅前看護リハビリテーション学院で18:00より平成22年の定期総会および講演会を開催いたします。先般より会員の皆様には総会への出欠のはがきを送付させていただきました。総会が成立するためには会員の皆様の3分の2の同意が必要になります。総会への参加が困難な場合、はがきの委任状に記載いただき返信していただきますように重ねてお願い申し上げます。



第19号 平成22年7月15日発行

preface

世界自然遺産の屋久島には樹齡1000年を超える杉(屋久杉)があります。その代表として縄文杉は有名です。屋久杉の特徴として倒木更新、切り株更新があります。台風などで倒れた大木の上や昔切られた切り株の上に屋久杉の種が落ち発芽し、再び大きな屋久杉に成長していくのが特徴です。写真は倒木更新で新しい芽が発芽したところと三代杉で初代の切り株の上に三代目がしっかり根をおろして一代、二代目より大きな杉に成長しているところです。



杉の発芽

くまもと訪問リハビリテーション研究会は発足して5年を迎えます。その節目の記念として9月11日に記念の講演会を行います。



三代杉

また熊本県作業療法士協会、熊本県理学療法士協会、熊本県言語聴覚士協会と当会の4団体で熊本訪問リハビリテーション連絡協議会を立ち上げ、今年度から30時間の実務者研修も開催されました。発足以来の5年間をふまえて、くまもと訪問リハビリテーション研究会が縄文杉に負けないように大きくより成長し、今後ますます社会貢献に寄与し発展していけるように会員の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

理事 大久保智明

平成22年第1回研修会

平成22年 第1回くまもと訪問リハビリテーション研究会に参加して

去る2月27日、くまもと訪問リハビリテーション研究会研修会が熊本駅前看護リハビリテーション学院で開催されました。当日の講師は理学療法士の松永俊夫先生と言語聴覚士の高橋育子先生でした。両先生とも在宅・訪問分野において日本を代表する先生方で大変多忙にもかかわらず、熊本の訪問リハの発展の為に大変丁寧な、また熱意のこもった講演をして頂きました。

高橋先生は北海道で地域リハ実践プロジェクトりらいふというNPO法人を立ち上げておられ、その活動の歴史とでもいうべき今回の講演は、若輩者の私にとってまさに別次元とも言うべき内容でありました。バイタリティ溢れる高橋先生の講演は、なんと約一時間で100枚近い(!)スライドを用いて発表され、その中にはベルサイユ宮殿やナイアガラの滝など、世界中の観光名所を背景に車椅子で写真に写るりらいふ会員の方の満面の笑顔があふれていました。病院から在宅へ、在宅から地域へ、そして地域から世界へ飛び出された高橋先生とりらいふ会員の方の笑顔は、これからの訪問リハの進むべき道を示しているような、素晴らしい表情でした。

最後に、高橋先生は講演の中で『在宅で過ごすこと=幸せ』なのか、という問いかけを参加者へされました。「家で暮らしたい」という本音と「しかし誰かの助け無しには暮らせない」という現実の中で、患者は常に「では自分は生きてはいけないのか」という不安を抱えながら日々生活している、とも仰いました。

「家で暮らしたい」方が「家で暮らせる」為に我々訪問リハビリに携わる者に何が出来るのか、あるいは何をしなければいけないのか。今後、その答えを模索しながら日々のリハビリに臨まなければならないと痛感した一日でした。

理事 林 亜星

吸引について

平成22年4月30日の厚生労働省医政局長から各都道府県知事宛に掲題の通知が発出され、リハビリテーション関連職種「喀痰等の吸引」について、排痰、誤嚥時の吸引が認められました。今後はさまざまな団体で研修会が計画されていますので、情報を流していきたいと思っております。

研究会案内

平成23年第1回

くまもと訪問リハ研究会研修会

2月4日(土)に開催決定!!

OTで施設長の土井勝幸氏が来熊!!

テーマは「介護老人保健施設を軸とした地域生活支援」
～通う・泊まる・訪問することの意味～

講師は仙台の介護老人保健施設せんだんの丘の施設長で作業療法士の土井勝幸先生をお招きしています。先生は仙台で地域リハに関わるさまざまな事業展開をされています。経験豊富な話が聴ける貴重な機会です。今回は講演会の後、ケアマネジャーと共にシンポジウムを企画しております。

平成22年度 訪問リハビリテーション管理者研修会の開催のご案内

日本語聴覚士協会、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会の3団体が昨年共同設立した「全国訪問リハビリテーション振興会」では昨年に引き続き、管理者研修会を開催しています。

STEP1の開催日程

第5回訪問リハビリテーション管理者研修会 STEP1
東京会場 22年10月9～11日(8月9日より受付開始)

STEP2の開催日程

第2回訪問リハビリテーション管理者研修会 STEP2
大阪会場 22年8月6～8日(6月7日より受付開始)

第3回訪問リハビリテーション管理者研修会 STEP2
東京会場 22年12月10～12日(10月12日より受付開始)

STEP3の開催日程

第1回訪問リハビリテーション管理者研修会
東京会場 23年2月11～13日(12月13日より受付開始)

【お申し込み】

申し込みは入力フォーム(<http://is222.formaps.jp/d627/form2/>)よりお申し込み下さい。事務所代行の合同会社gene(ジーン)のホームページ(www.gene-llc.jp)からもお申し込みが可能です。

【参加費】PT・OT・ST協会員 20,000円(事前振込み)

【問い合わせ先】事務局代行 合同会社gene(ジーン)

担当:北澤 伸

名古屋市中区千代田2-6-18 グラシア3号館1階

E-mail: kita@gene-llc.jp TEL:052-242-2800 FAX:052-242-2811



第20号 平成22年12月21日発行

preface

『「ありがとう」って伝えたくて〜』という『いきものがかり』のテーマソングによって『ゲゲゲの女房』というNHKの朝の連ドラが今年大ヒットした。『ゲゲゲの鬼太郎』で知られる漫画家・水木しげるの妻である武良布枝さんの自伝を原案に、好きなことに命がけで打ち込む夫を支え、朗らかに生きていくヒロインとその家族を描いたドラマだ。

ドラマの大ヒットの影響で水木しげるの故郷である鳥取県境港市は一気に脚光をあびた。17年ほど前に町おこしで創られた僅か800mの水木しげるロードには、平成22年10月までに300万人という凄まじい数の観光客が訪れている。

今年9月に研修会で鳥取に行く機会があり、熊本に帰る前に立ち寄ってみた。境港へ行く列車、JRの駅、町はいたるところが鬼太郎一色、沿道には数々の妖怪のブロンズ像と様々な関連グッズを扱うお店が立ち並んで観光客を楽しませている。帰りのタクシーで、米子空港までが米子鬼太郎空港になったと聞き驚くばかりだ。PTになる前に漫画家を目指していた筆者としては、漫画でここまで地域おこしができるのか？ 曲りなりにも専門職として地域リハに関わっていて、どれくらい地域を元気にできているのか複雑な心境だった。



ところで今年3月に地域包括ケア研究会より報告書が出された。その中には2025年の地域包括ケアの姿が描かれている。その通りいかは別として、平成24年の介護保険改正も含め、今後この報告書の内容を軸に制度展開が行われそうだ。報告書では住みなれた地域で暮らし続けるために、日常生活圏域で安全、安心・健康確保のための多様なサービスを24時間365日提供できる体制を目指している。そしてこれまでのように対象者が心身の状態に合わせて生活の場を変えるのではなく、現在生活している場所でサービス提供体制が変化して支える仕組みを考えている。我々もどこかの事業所に拠点を置きつつも、様々な施設等との契約で、外部サービスとして出向き、日によってサービス提供の場所が異なる働き方になる可能性がある。ますます質を問われる時代となることは必至である。

我々は地域に根ざしたりハビリテーションの専門集団として、今後どれくらい地域で暮らす障害高齢者、家族や取り巻く人々を元気づけ「ありがとう」という言葉をいただけるか、真の存在意義がこれから問われる。

野尻晋一

平成22年第2回研修会

平成22年 第2回くまもと訪問リハ研修会 5周年記念研修会に参加して

9月11日、国際交流会館にて第2回くまもと訪問リハ研修会が開催されました。講師は仙台の介護老人保健施設せんだんの丘の施設長で作業療法士の土井勝幸先生でした。先生は仙台で地域リハに関わる様々な事業を展開されており、その豊富な経験をもとにした今回の講演は驚きと感銘の連続でした。土井先生は地域リハの分野において日本を代表する方でご多忙にも関わらず、大変参考になる講演をして頂きました。

せんだんの丘では、リハビリテーションの視点から「自立支援に基づいた個別ケアの徹底」を実践されています。その取り組みは、介護保険の醍醐味である「選べる」ということを多くの事業や通所リハの様々な場面で最大限に活用されており、大変魅力を感じました。私は訪問リハサービス提供者として行うべきことや今後の方向性を考えながら試行錯誤の日々を送っておりますが、先生の講演から「看護師やヘルパーと協力して自立支援を提供できるリハを行うこと」の大切さを学ぶことができました。

講演会の後には「ケアマネージャーからみた訪問リハ」というテーマで、BGMを流しながらシンポジウムが開催されました。穏やかな雰囲気の中で、野尻晋一会長のナビゲートのもと土屋政伸CM、山中敦子CM、木原伸一PT、有働正二郎OT、林亜星STの専門職の視点から、様々な意見や訪問リハに対する思いが述べられました。訪問リハが導入されにくい理由として「メリットが不明確なこと」「価格」「自宅へ来られることへの抵抗」が挙げりましたが、各セラピストより訪問リハのメリットや効果を分かりやすく説明して頂きました。それをふまえ、最後にはCMから課題とアドバイスを頂き、今後、訪問リハが発展していくための貴重な意見交換の場となりました。これから、この研修会で学んだことを日々の業務に活かしていきたいと思えます。

聖ヶ塔病院 作業療法士 森田千恵美

研究会案内

平成23年第1回

くまもと訪問リハ研究会研修会開催日決定！

『生活期で働くスタッフのための認知症の理解とリハビリテーションケア(仮題)』

介護老人保健施設 ひもろぎの園
リハビリテーション科長
作業療法士 石井利幸氏に決定!!

認知症ケアのスペシャリスト来熊!!

日時:平成23年2月4日(金)19:00~
(会員の方は総会を18:30~始めます)
場所:くまもと県民パレオホール
会費:会員1000円(別途年会費1000円)
非会員2000円

先着150名 応募多数の場合はすみません。

その他研修会

平成22年全国訪問リハビリテーション研究会 基礎研修会IN佐賀

【日時】 平成23年3月12、13日
現在準備中のため、詳細は全国訪問リハビリテーション研究会のホームページで確認してください

第17回全国訪問リハビリテーション研究大会(東京)

【日時】 平成23年05月14日(土)13:00~17:00
" 15日(日)9:00~15:20

【場所】 タイム24ビル
東京都江東区青海2丁目4番32号

【演題募集】 54題
申込受付期間
平成22年10月1日~23年1月31日
詳細は全国訪問リハビリテーション研究会のホームページをご覧ください